

2008 年度

<p>科目名</p> <p>文化財学課題研究（神話伝承学の研究）</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>研究科前文1回生 研究科後文1回生</p>	<p>担当者</p> <p>辰巳 和弘</p>																																																																																										
<p>授業テーマ</p> <p>古代日本の心性</p>																																																																																												
<p>授業の概要と目標</p> <p>日本の神話について古代学的視点から考える。特に考古資料のさまざまな“かたち”の背後にある古代人の“こころ”に分け入りつつ、記紀や風土記に伝承される神話の基層を分析し、日本文化の特質や基層を再認識することをめざす。</p>																																																																																												
<p>評価方法</p> <p>随時、レポートを課す（60%）。出席・授業への積極的なかわりとあわせ評価する。</p>																																																																																												
<p>テキスト</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>																																																																																										
<p>参考書</p> <p>風土記の考古学—古代人の自然観 古墳の思想—象徴のアルケオロジー 新古代学の視点</p>	<p>著者</p> <p>辰巳和弘 辰巳和弘 辰巳和弘</p>	<p>出版社</p> <p>白水社 白水社 小学館</p>																																																																																										
<p>授業スケジュール・内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">1.文化をみる眼</td> <td style="width: 10%;">(1)</td> <td style="width: 60%;">考古資料を史料とするには。</td> </tr> <tr> <td>2. "</td> <td>(2)</td> <td>考古資料を資料とするには。</td> </tr> <tr> <td>3.中国文明の移入と倭化</td> <td>(1)</td> <td>仙薬「禹余糧」と唐古・鍵遺跡</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>(2)</td> <td>勾玉の性格</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>(3)</td> <td>銅鐸と銅鐸絵画</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>(4)</td> <td>古墳という葬制（副葬品）</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>(5)</td> <td>"（前方後円形の墓）</td> </tr> <tr> <td>8.古代の死生観</td> <td>(1)</td> <td>家形の空間と黄泉の国訪問神話</td> </tr> <tr> <td>9. "</td> <td>(2)</td> <td>舟葬論争</td> </tr> <tr> <td>10. "</td> <td>(3)</td> <td>舟葬観念</td> </tr> <tr> <td>11. "</td> <td>(4)</td> <td>大寺山洞穴と洞穴葬</td> </tr> <tr> <td>12. "</td> <td>(5)</td> <td>古墳壁画の思想</td> </tr> <tr> <td>13. "</td> <td>(6)</td> <td>形象埴輪の世界</td> </tr> <tr> <td>14. "</td> <td>(7)</td> <td>古墳と石製品</td> </tr> <tr> <td>15. "</td> <td>(8)</td> <td>『万葉集』にみる古代の他界観</td> </tr> <tr> <td>16.古代の環境と心性</td> <td>(1)</td> <td>眼—見えるもの、見えないもの</td> </tr> <tr> <td>17. "</td> <td>(2)</td> <td>見る—王権祭儀の基層</td> </tr> <tr> <td>18. "</td> <td>(3)</td> <td>出雲大社とその伝承</td> </tr> <tr> <td>19. "</td> <td>(4)</td> <td>境界（坂・峠）</td> </tr> <tr> <td>20. "</td> <td>(5)</td> <td>山の神話と神奈備</td> </tr> <tr> <td>21. "</td> <td>(6)</td> <td>聖なる土と火</td> </tr> <tr> <td>22. "</td> <td>(7)</td> <td>宇宙樹とチマタ</td> </tr> <tr> <td>23. "</td> <td>(8)</td> <td>水の祭儀と神話</td> </tr> <tr> <td>24. "</td> <td>(9)</td> <td>龍・蛇と水</td> </tr> <tr> <td>25. "</td> <td>(10)</td> <td>鳥・袖・領巾</td> </tr> <tr> <td>26. "</td> <td>(11)</td> <td>地主神と王の狩</td> </tr> <tr> <td>27. "</td> <td>(12)</td> <td>神の訪れ</td> </tr> <tr> <td>28. "</td> <td>(13)</td> <td>神話の土壌—心を問うこと</td> </tr> <tr> <td>29. "</td> <td>(14)</td> <td>古代人と環境</td> </tr> <tr> <td>30. "</td> <td>(15)</td> <td>古代人と環境</td> </tr> </table>			1.文化をみる眼	(1)	考古資料を史料とするには。	2. "	(2)	考古資料を資料とするには。	3.中国文明の移入と倭化	(1)	仙薬「禹余糧」と唐古・鍵遺跡	4. "	(2)	勾玉の性格	5. "	(3)	銅鐸と銅鐸絵画	6. "	(4)	古墳という葬制（副葬品）	7. "	(5)	"（前方後円形の墓）	8.古代の死生観	(1)	家形の空間と黄泉の国訪問神話	9. "	(2)	舟葬論争	10. "	(3)	舟葬観念	11. "	(4)	大寺山洞穴と洞穴葬	12. "	(5)	古墳壁画の思想	13. "	(6)	形象埴輪の世界	14. "	(7)	古墳と石製品	15. "	(8)	『万葉集』にみる古代の他界観	16.古代の環境と心性	(1)	眼—見えるもの、見えないもの	17. "	(2)	見る—王権祭儀の基層	18. "	(3)	出雲大社とその伝承	19. "	(4)	境界（坂・峠）	20. "	(5)	山の神話と神奈備	21. "	(6)	聖なる土と火	22. "	(7)	宇宙樹とチマタ	23. "	(8)	水の祭儀と神話	24. "	(9)	龍・蛇と水	25. "	(10)	鳥・袖・領巾	26. "	(11)	地主神と王の狩	27. "	(12)	神の訪れ	28. "	(13)	神話の土壌—心を問うこと	29. "	(14)	古代人と環境	30. "	(15)	古代人と環境
1.文化をみる眼	(1)	考古資料を史料とするには。																																																																																										
2. "	(2)	考古資料を資料とするには。																																																																																										
3.中国文明の移入と倭化	(1)	仙薬「禹余糧」と唐古・鍵遺跡																																																																																										
4. "	(2)	勾玉の性格																																																																																										
5. "	(3)	銅鐸と銅鐸絵画																																																																																										
6. "	(4)	古墳という葬制（副葬品）																																																																																										
7. "	(5)	"（前方後円形の墓）																																																																																										
8.古代の死生観	(1)	家形の空間と黄泉の国訪問神話																																																																																										
9. "	(2)	舟葬論争																																																																																										
10. "	(3)	舟葬観念																																																																																										
11. "	(4)	大寺山洞穴と洞穴葬																																																																																										
12. "	(5)	古墳壁画の思想																																																																																										
13. "	(6)	形象埴輪の世界																																																																																										
14. "	(7)	古墳と石製品																																																																																										
15. "	(8)	『万葉集』にみる古代の他界観																																																																																										
16.古代の環境と心性	(1)	眼—見えるもの、見えないもの																																																																																										
17. "	(2)	見る—王権祭儀の基層																																																																																										
18. "	(3)	出雲大社とその伝承																																																																																										
19. "	(4)	境界（坂・峠）																																																																																										
20. "	(5)	山の神話と神奈備																																																																																										
21. "	(6)	聖なる土と火																																																																																										
22. "	(7)	宇宙樹とチマタ																																																																																										
23. "	(8)	水の祭儀と神話																																																																																										
24. "	(9)	龍・蛇と水																																																																																										
25. "	(10)	鳥・袖・領巾																																																																																										
26. "	(11)	地主神と王の狩																																																																																										
27. "	(12)	神の訪れ																																																																																										
28. "	(13)	神話の土壌—心を問うこと																																																																																										
29. "	(14)	古代人と環境																																																																																										
30. "	(15)	古代人と環境																																																																																										